

女性が抱える心身の“変化”と SDGs の結びつき

The connection between the physical and mental “changes” that women are facing and the SDGs.

流川未有,湖口柊平,谷 柚歩,長橋 溪

日本大学危機管理学部

「女性の生活の豊かさ向上」をテーマに、①婦人科検診の受診促進に関して。②生理痛体験会。③生理用品体験会。④医療×行政の専門家による、パネルディスカッション。以上の 4 つの企画を行い、SDGs の目標 1「貧困をなくそう」、目標 3「すべての人に健康と福祉を」、目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」を達成すべく、取り組んでいる。企画と SDGs の目標との結びつきに関しては、以下の通りである。目標 1「貧困をなくそう」。生理用品体験会を実施し、生理用品をみて、さわることができる機会を提供することで、「生理の貧困」の解消及び実態への理解を深めることを目的とする。目標 3「すべての人に健康と福祉を」。生理に関する理解を深める企画や婦人科検診の受診を促進する企画を実施することで、1 人でも多くの方に健やかな生活を。そして、婦人科系疾患で苦しむ人を少なくする“きっかけ”をつくれるよう、活動している。目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」。①～④の企画は性別を問わず、すべての方を対象に実施している。また、生理痛体験会を行うことで、女性の生理の辛さ等を理解し、生理痛によるジェンダー差別をなくす“きっかけ”を提供できるよう努めている。

①～③の企画は、2023 年 11 月に三軒茶屋キャンパスの学祭「三茶祭」にて、実施済み。2 日間で約 100 名の方に参加していただき、女性が抱える“変化”に関して SDGs を交えて学びを深めていただいた。2024 年 1 月には、「フェムテック大学」と称したイベントを実施予定。①～④の企画を日本大学の学生や教職員、地域の方々に対して行うことで、SDGs の目標を達成する一助を担いたい。私たち、NU SDGs Project.の企画を通して、1 人でも多くの方に女性が抱える“変化”や SDGs に関心を持っていただくこと。そして、すべての人が過ごしやすい社会をつくることが最終的な目標とし、活動を行っている。

By implementing projects related to menstruation and gynecological checkups, we are working to achieve SDGs Goal 1:“End poverty,”Goal 3:“Health and well-being for all,”and Goal 5:“Achieve gender equality.”

■SDGs の分類（番号と目標）

- 1・ 貧困をなくそう
- 3・ すべての人に健康と福祉を
- 5・ ジェンダー平等を実現しよう

■所属と略歴

1)所属

三軒茶屋キャンパス（プロジェクト代表が、三軒茶屋キャンパスの学生であるため。）

プロジェクトメンバーの所属学部は、以下の通りである。

危機管理学部/スポーツ科学部/経済学部/理工学部/芸術学部

2)略歴（講演者が複数人いるため、団体の所属及び略歴を記載します。）

2022年3月10日に発足。

三軒茶屋キャンパスの学生有志によって立ち上げられた団体であり、「1人でも多くの方にSDGsを理解していただき、行動に移していただくこと」を目標に、活動を行っている。

2022年度は三軒茶屋キャンパスで「ガチャとスタンプラリーを用いた体験型コンテンツ」を企画。のべ、300名の学生に参加していただき、SDGsを知っていただく“きっかけづくり”を行った。

今年度は、SDGsへの理解力向上に加え、女性のライフステージ上で起こる“変化”に着目した企画を実施。2023年11月に三軒茶屋キャンパスで行われた三茶祭で行ったイベントでは、2日間で約100名の参加実績がある。